ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

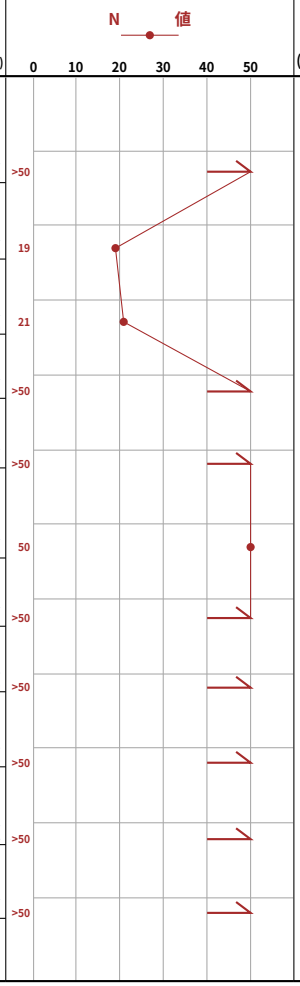
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	No.1(測点No.80+15.0)	調査位置				北　緯	36 ° 48 ' 30.0000 "
発 注 機 関	栃木県大田原土木事務所		調査期間	2009-02-13 ～ 2009-02-17		東　経	140 ° 01 ' 09.0000 "
調 査 業 者 名		主任技師	現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者	ボーリング責任者	
孔 口 標 高	166.52 m	角度	180° 上 / 下 0° 90° 0.00 °	方向	北 0° / 270° 西 / 90° 東 / 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° / 水平 0° 0.00 °
総 掘 進 長	11.27 m	使用機種	試 錐 機		ハンマー落下用具		
			エンジン		ポ ン プ		

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	166.22	0.30	0.30		表土 (SF)	暗褐			農耕土 シルト質の粘性土主体		
1					砂礫 (GS)	暗褐灰	非常に密な		礫はφ2～75mm程度の円礫主体 礫間は粗砂で充填されている 所々にφ100～300mm程度の玉石を点在する 地下水面下は堆積状態がルーズである		02/14 1.60
2	164.22	2.00	2.30								
	163.92	0.30	2.60		礫混じり粗砂 (CS-G)	暗褐灰	中ぐらい		φ5～10mm程度の小礫点在する 粒径不均一な粗砂主体である		
3	163.52	0.40	3.00		砂礫 (GS)	暗褐灰			礫はφ2～40mm程度の円礫主体である 礫間は粗砂で充填されている 含水多く,崩れやすい		
	163.12	0.40	3.40		礫混じり粗砂 (CS-G)	暗褐灰					
	162.92	0.20	3.60		砂礫 (GS)	暗褐灰	中ぐらい		φ5～10mm程度の小礫点在する 粒径不均一な粗砂主体である		
4					粘土混じり砂礫 (GS-C)	褐灰～暗褐灰			礫はφ2～40mm程度の円礫主体である 礫間は粗砂で充填されている 含水多く,崩れやすい		
5									礫はφ2～50mm程度の円,亜円礫,風化礫主体 礫間は粗砂および多量の粘土で密に充填されている 所々にφ100～150mm程度の玉石が点在する 下部含水多い 風化礫が多量に混じる		
6											
7											
8											
9											
10											
11	155.25	7.67	11.27								

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	12	19	19/8	50/28	>50
1.43					
2.15	6	7	6	19/30	19
2.45					
3.15	5	6	10	21/30	21
3.45					
4.15	33	17/6		50/16	>50
4.31					
5.15	50			50/10	>50
5.25					
6.15	12	19	19	50/30	50
6.45					
7.15	19	27	4/2	50/22	>50
7.37					
8.15	50/9			50/9	>50
8.24					
9.15	50/9			50/9	>50
9.24					
10.15	36	14/4		50/14	>50
10.29					
11.15	42	8/2		50/12	>50
11.27					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						02/14
						02/16